

第33回 日本腹部放射線学会開催のご挨拶



第33回日本腹部放射線学会
会長 伊東 克能
山口大学大学院医学系研究科 放射線医学講座

第33回日本腹部放射線学会を2019年6月28日(金)と29日(土)の両日、山口県下関市の海峡メッセ下関にて開催させていただきます。

私が研修医のころ、MRIはまだ臨床応用され始めたところでしたが、膵癌の切除標本のMRI画像と病理組織との対比を見たとき、画像がきわめて詳細に病理所見を反映していることに衝撃を受けました。本学会はこの画像と病理の対比が根幹をなしており、病理所見を画像にフィードバックさせることで、画像所見がその疾患の病態を表していることがよくわかります。そして腹部骨盤領域の多彩な疾患を2日間で“経験”できるのが本学会の大きな特徴であり、今回もそのような一般演題とエキスパートの先生方による特別講演や基調講演をお願いする予定です。

下関市には歴史的建造物も多く、日清講和条約が締結された春帆楼や旧下関英国領事館などがあります。足を延ばせばドラマHEROのロケ地としても有名な角島大島もあります。また下関は関門海峡を挟んで響灘と周防灘に接することから海産物が豊富で、会場近くの唐戸魚市場では早朝から最高級の新鮮なさしみやお寿司が格安でいただけますので、ぜひご賞味ください。

山口県では明治維新150周年を迎え、さまざまなイベントが行われています。幕末には吉田松陰が主宰する松下村塾出身者が高い志を持って、明治維新に向かって活躍しました。サブタイトルにありますように、「明治維新胎動之地へようこそ」ということで、本州の最西端ではありますが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人日本腹部放射線学会 役員名簿

《代表理事》 南 学 (筑波大) 《副代表理事》 後閑 武彦 (昭和大)

《名誉会員》: 11名

荒木 力 (健康科学大) 角谷 眞澄 (丸の内病院) 黒田 知純 (大阪がん予セ) 杉村 和朗 (神戸大)
中尾 宣夫 (兵庫医大) 中村 仁信 (彩都友誼会) 平松 京一 (水町MR) 平松 慶博 (立川北口健診館)
松井 修 (北陸画像診断支援セ) 宗近 宏次 (総合南東北病院) 森 宣 (長門記念病院)

《理事》: 9名

今井 裕 (東海大) 大友 邦 (国際医療福祉大) 梶 靖 (獨協医大) 蒲田 敏文 (金沢大)
陣崎 雅弘 (慶應大) 富樫かおり (京都大) 鳴海 善文 (京都橋大) 村上 卓道 (神戸大)
山下 康行 (熊本大)

《功労会員》: 6名

木戸長一郎 (木戸病院) 隈崎 達夫 (さわやか済生) 齋田 幸久 (東京医科歯科大学) 竹川 鉦一 (総合南東北病院)
田村 正三 (川南病院) 山田 龍作 (大阪河崎リハ)

《監事》: 3名

赤羽 正章 (国際医療福祉大) 伊東 克能 (山口大) 吉満 研吾 (福岡大)

《評議員》: 78名

【北海道・東北地区】8名

加藤 健一 (岩手医大) 児玉 芳尚 (手稲溪仁会) 齋藤 博哉 (札幌東徳洲会) 篠原 敦 (大館市立総合)
渋谷 剛一 (青森県立中央) 高瀬 圭 (東北大) 津田 雅視 (仙台市立病院) 橋本 学 (秋田大)

【関東・甲信越地区】23名

市川 智章 (埼玉医大国際医療セ) 衣袋 健司 (日本大板橋) 扇 和之 (日本赤十字) 扇谷 芳光 (昭和大)
岡田 真広 (日本大板橋) 岡田 吉隆 (埼玉医大国際医療セ) 加村 毅 (信楽園病院) 桑鶴 良平 (順天堂大)
五味 達哉 (東邦大大橋) 新本 弘 (防衛医大) 竹下 浩二 (東京山手メディカル) 田中優美子 (がん研有明)
原留 弘樹 (北里大) 藤永 康成 (信州大) 古川 顕 (首都大学東京) 松枝 清 (がん研有明)
松尾 義朋 (イーサイトヘルスケア) 水沼 仁孝 (那須赤十字) 本杉宇太郎 (山梨大) 森 健作 (筑波大)
吉田 哲雄 (県立足柄上) 吉村 宣彦 (新潟大) 渡谷 岳行 (東京大)

【中部・北陸地区】8名

阿保 斉 (富山県立中央) 伊藤 茂樹 (名古屋第一赤十字) 五島 聡 (浜松医大) 小林 聡 (金沢大)
鈴木耕次郎 (愛知医大) 竹内 充 (ラジオロネット東海) 竹原 康雄 (名古屋大) 山本 亨 (福井県立)

【近畿地区】22名

磯田 裕義 (京都大) 伊藤 亨 (大阪赤十字) 今岡いずみ (神戸低侵襲がん医療セ) 大田 信一 (滋賀医大)
狩谷 秀治 (関西医大) 河上 聡 (京都ProMed) 吉川 公彦 (奈良医大) 金 東石 (なにわ生野)
杉本 幸司 (神戸大) 祖父江慶太郎 (神戸大) 高橋 哲 (高槻病院) 谷川 昇 (関西医大)
坪山 尚寛 (大阪医療セ) 鶴崎 正勝 (近畿大) 中井 豪 (大阪医大) 廣橋 伸治 (大阪晩明館)
堀 雅敏 (大阪大) 松木 充 (近畿大) 丸上 永晃 (奈良医大) 山崎 道夫 (公立甲賀)
山本 和宏 (大阪医大) 渡邊 祐司 (京都医療科学大)

【中国・四国地区】8名

栗井 和夫 (広島大) 金澤 右 (岡山大) 佐野村隆行 (香川大) 津田 孝治 (愛媛大)
藤井 進也 (鳥取大) 松崎 健司 (徳島文理大) 山上 卓士 (高知大) 吉廻 毅 (島根大)

【九州・沖縄地区】9名

青木 隆敏 (産業医大) 入江 裕之 (佐賀大) 内田 政史 (久留米大) 浪本 智弘 (公立玉名中央)
西村 浩 (済生会二日市) 林 秀行 (諫早総合) 福倉 良彦 (鹿児島大) 本田 浩 (九州大)
松本 俊郎 (大分大)

(109名敬称略・順不同)

《事務局》

南 学 (代表理事)、小川 智子
E-mail: jsar@oita-u.ac.jp

一般社団法人設立と正会員としての年会費制について

本会は1990年から「任意団体」として活動して参りましたが、会員数も平成22年には900名を越え、国内外の腹部放射線医学・画像診断学領域において重要な役割を果たしております。

放射線医学の更なる発展の基盤となるよう、平成23年2月7日（月）に名実ともに「一般社団法人 日本腹部放射線研究会」として設立登記し、平成25年6月21日（金）に「一般社団法人 日本腹部放射線学会」となりました。

尚、「一般社団法人」は主に「会費収入」で成り立つ事が条件と定める公正取引委員会での取決めに基づき、平成23年度より正会員としての「年会費制（8,000円）」を導入し、お支払い手続きのご負担軽減の為、全てクレジットカード決済としております。

【正会員の継続について】

年会費（8,000円）は、本会の法人年度に合わせて5月1日付けでご登録のクレジットカードより自動決済しておりましたが、セキュリティ強化によるシステム変更に伴い、2019年度（2019年5月1日～）より、毎年度クレジットカード番号の再入力が必要となりました。

【新規に正会員としてご登録頂く場合】

本学会の法人化前（平成23年2月7日以前）に会員登録済みの場合は、学会ホームページの会員登録より「確認・修正」をご選択頂き、登録内容を確認・修正してください。この際には年会費のクレジットカード決済のご入力を御願いたします。

- ・年会費納入期間：日本腹部放射線学会法人年度内（5月1日～翌年4月末日）
但し、学会開催前の5月1日～31日の間に、当年度の「年会費（8,000円）」を納入して頂いた場合は、同年に開催されます学術集会の参加費（15,000円）を、年会費納入の特典として減額いたします（正会員：5,000円、但し、初期研修医は免除）。
5月中に「年会費（8,000円）」を納入されない場合、参加費は15,000円となります。
- ・学術集会会場での年会費の現金払いは受付出来ませんので、予めご了承下さい。

【年会費納入の特典】

- 1) 学会および学会関連学会の情報提供
- 2) 学会ホームページ上の「デジタルアトラス」の閲覧資格取得
- 3) 日本腹部放射線学会バイエル奨励賞の応募資格取得
- 4) 当年度の学会当日参加費の優遇
(学会開催前の5月1日～31日の間に年会費を納入して頂いた場合に限られます)

正会員	5,000円（但し、初期研修医は免除）
非会員	15,000円（但し、初期・後期研修医は5,000円）

「正会員」となることにより、多くの先生方が日常診療や研究活動及び教育の場において幅広くその特典を活用されることを祈願いたします。

一般社団法人日本腹部放射線学会
代表理事 南 学

ご案内

1. 総合受付

1) 受付日時・場所

日時：2019年6月28日（金） 8：00～

29日（土） 7：30～

場所：海峡メッセ下関 1F 展示見本市会場（西側）内

2) 参加費は下記の通りです。

当日受付にて参加費をお支払いいただき、名札（兼出席証明書）をお受け取りください。

正会員	5,000円
	但し、初期研修医は免除
非会員	15,000円
	但し、初期・後期研修医は5,000円

2. 一般演題

【一般口演】

・口演会場は1F 展示見本市会場（東側）です。

1) 座 長

・ご担当頂くセッションの終了時間を厳守してください。一般口演の発表時間はすべて8分（発表5分、討論3分）（病理コメントを含む）、大会長症例の発表時間は4分、最後に総合討論を行います。

2) 発表者

◆「ブレデジタルアトラス」について

発表者全員に学会ホームページ上で発表内容を「ブレデジタルアトラス」形式で事前入力して頂き、非公開で「打田賞」事前審査に活用させていただきます。また、学会当日、充実した討論をして頂く為に、病理コメントーターの先生方による症例内容の事前確認をブレデジタルアトラスにて行いますので、入稿の際には詳細な病理像を掲載できるよう予めデータのご準備をお願いいたします。

◆「デジタルアトラス」、学術誌「臨床放射線」掲載について

学会終了後に、掲載希望確認の上、「ブレデジタルアトラス」を「デジタルアトラス」として学会ホームページに掲載いたします。また、選考委員より推薦された演題は日本腹部放射線学会が、学術誌「臨床放射線」への投稿（「ブレデジタルアトラス」＋「英文サマリー」＋「査読」）をサポートいたします。（学術誌「臨床放射線」と「デジタルアトラス」のホームページ併載は二重投稿となりません。）

<タイムスケジュール>

2018年	11	12	2019年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
演題登録			→			→			◆ 第33回日本腹部放射線学会											
				「ブレデジタルアトラス」入稿				掲載可否最終確認												
						「ブレデジタルアトラス」内容修正 (学術誌「臨床放射線」投稿は英文サマリー追加)														
					「臨床放射線」査読(JSAR査読委員)・著者校正					→										
												「デジタルアトラス」HP掲載								
												※) 翌年「臨床放射線」掲載								

※)「臨床放射線」掲載予定は金原出版社の最終協議により決定いたします。

<執筆要綱（概略）>

①「プレデジタルアトラス（＝デジタルアトラス）」

日本語入力	〔症例報告〕 3,200字以上 8,800字以内 〔原著論文〕 3,200字以上 12,800字以内 ※）図、表…1点を400字に換算
英語入力	〔Case Report〕 2,000語以内 〔Original Article〕 3,000語以内 ※）図、表…15点以内

②「臨床放射線」

選考委員により推薦された演題については、「プレデジタルアトラス」掲載内容を論文の体裁に整えて頂き、英文サマリー（演題名、演者名、所属含100ワード以内）を追加後、査読・校正を通して同学術誌へ投稿して頂く事が出来ます。又、英語入力された場合は臨床放射線の投稿規定に準じていただきます。

◆発表時間

- ・一般口演の発表時間はすべて8分（発表5分、討論3分）（病理コメントを含む）、大会長症例の発表時間は4分、最後に総合討論を行います。時間厳守をお願いいたします。

◆発表形式

- ・PCによる発表ですので、データもしくはご自身のPCをご持参ください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で舞台上に設置されてあるキーボード及びマウスにて操作していただきます。

病理コメントーターがコメントをする際に、病理写真のスライドを使うことがございますので、最終スライドの後に、発表で使ったものと同じ病理写真のスライドを再掲してください。
発表で提示していない病理写真を入れることはできません。
質疑応答の際に、スライドを戻して説明することはご遠慮ください。

◆PC受付

- ・PC受付（1F ホワイエ）にて、発表の30分前までに試写をお済ませください（混雑が予想されますので、十分時間に余裕を持ってPC受付を行っていただきますようご協力をお願いいたします）。
- ・PC受付での発表データの修正作業はご遠慮ください。
- ・PC本体をお持ち込みの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。

◆発表に関する注意事項

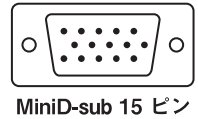
- ・講演会場にはワイドサイズのスクリーン（16：9）をご準備しております。
標準サイズ（4：3）のデータもご利用いただけますが、ワイドサイズ（16：9）での作成を推奨します。

<データをお持ち込みの方>

- ・発表はWindowsのPowerPointとなります。発表データはCD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください（CD-RW、DVD-RWは不可）。
- ・ご発表用アプリケーションは以下のバージョンをご用意いたします。
Windows PowerPoint：2010～2016
※Macintoshで発表データを作成される方は、ご自身のPCをご持参ください。
- ・フォントはOS標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお勧めいたします。
推奨フォント/日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
推奨フォント/英語の場合 Century、Century Gothic、Arial、Arial Black、Times New Roman
上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つため、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。ファイル形式は、Windows Media Player12（標準コーデック）で動作するファイル形式でご用意ください（推奨：mp4、WMV）。
※AVIはCODECによって再生できない場合があります。
動画をご使用の場合は、ご自身のPCをご持参いただくことをお勧めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・お預かりした発表データは、学会終了後、事務局にて消去いたします。

<PC本体をご持参される方>

- ・PC本体をお持ち込みの方は、PC受付でのデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。
- ・PCをお持ち込みの場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。再起動することがありますので起動の際のパスワード設定は必ず解除してください。
- ・出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。
※HDMIやMini DisplayPortなどのD-sub 15ピン以外の接続はお受けできません。
- ・画面サイズ（解像度）はXGA（1024×768）となります。
- ・この環境で画面のすべてが不具合なく表示されることを、予めご確認ください。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェック、並びに省電力設定（Macintoshの場合はホットコーナーも）は、あらかじめ解除をお願いいたします。



◆病理標本

- ・口演は病理学の先生にコメンテーターをお願いしております。病理コメンテーターの先生方よりご要望のあった演題については、事前にプレパラートをご送付いただくか、当日ご持参いただきます。ご郵送をお願いする場合は改めてご連絡させていただきます。なお、お預かりしたプレパラートは、口演後に病理室（1F 101 控室）にて返却いたしますのでお忘れのないようご注意ください。

【ポスター展示】

- ・ポスター展示会場は1F 展示見本市会場（西側）です。
- ・ポスター展示については、一般展示、問題提示（クイズ）形式の2種類があります。
各自ご発表の形式とパネルサイズを確認の上、作成するようお願いいたします。

1) 座 長

- ・1日目の17:30～18:15にポスターディスカッションを行います。
発表3分、質疑2分で進めてください。

2) 一般展示発表者

- ・ポスターを掲示するパネルのサイズは下記の通りです。
（10ページのポスター作成見本を参考に作成してください）
パネル上：横116cm×縦90cm
パネル下：横116cm×縦90cm
- ・ポスターは、1日目午前11:00までに掲示してください。ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意されたマジックテープを使用して掲示してください。
- ・1日目の17:30～18:15にポスターディスカッションを行います。発表者はご自身のポスターの前で待機してください。各セッションの座長の進行に従って、発表3分、質疑2分をお願いいたします。
- ・2日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願いいたします。終了後30分経過しても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。

3) クイズ展示発表者

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさは下記の通りです。
（11ページのポスター作成見本を参考に作成してください）
パネル上（出題）：横116cm×縦90cm
パネル下（解答解説）：横116cm×縦90cm
- ・出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを提示するように作成して下さい。図の説明は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願いいたします。矢印や矢頭はつけていただいても構いません。
- ・解答解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願いいたします。出題部分と重複してお示しいただいても構いません。
- ・上記の原稿を指定日までに事務局宛に送付してください。解答・解説部分を隠して掲示致します。なお、第1日目の18:00より解答・解説部分を公開いたします。
- ・展示に関して座長の設定や口演発表は行いませんが、第1日目の17:30～18:15まではポスターディスカッションのため、ご自分のポスターの前で待機してください。
- ・2日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後30分経過しても残っているポスターは処分致しますので、ご了承ください。

3. 社員総会（世話人会）

日 時：6月28日（金）12：35～13：10（35分）

場 所：8F 804

4. 展示クイズ企画

日 時：6月28日（金）17：30～18：15

場 所：1F ポスター会場内

・ポスター展示の閲覧時間は第1日目8：00～19：30、2日目7：30～17：00です。第1日目の8：00～18：00までクイズ展示ポスターの解答・解説は隠されています。

・会場には解答用紙を用意しておりますので、解答・解説が発表される前に皆様奮ってご解答ください。なお、解答・解説は第1日目の18：00～に公開されますので、それまでに会場に用意された箱に記名のうえご投函ください。

※6月29日（土）10：50～11：00 口演会場（1F 展示見本市会場（東側））にてクイズ症例優秀者表彰を行います。上位の方には当番世話人が心ばかりの賞品をご用意しております。皆様ぜひご参加ください。

5. 打田賞受賞講演・表彰

日 時：6月29日（土）13：20～14：05

6. 共催セミナー

【リフレッシャーコース1】（日本専門医機構認定放射線科領域講習会）

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日 時：6月28日（金）11：25～12：25

『MRI技術イノベーションがもたらす臨床ベネフィット』

座 長：村上 卓道（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線診断学分野）

演 者：渡谷 岳行（東京大学医学部附属病院 放射線科）

『上腹部領域のMRI up to date』

竹内麻由美（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 放射線医学分野）

『婦人科領域のMRI up to date』

【リフレッシャーコース2】（日本専門医機構認定放射線科領域講習会）

ゲルベ・ジャパン株式会社

日 時：6月28日（金）15：10～16：10

『上腹部・下腹部画像診断 おさえておくべきポイント』

座 長：栗井 和夫（広島大学）

演 者：祖父江慶太郎（神戸大学）

『造影CTを用いた上腹部臓器の線維化定量』

本田有紀子（広島大学）

『泌尿器科医の問い合わせで学んだこと -腎、尿管領域-』

【リフレッシャーコース3】（日本専門医機構認定放射線科領域講習会）

シーメンスヘルスケア株式会社

日 時：6月29日（土）8：00～9：00

『腹部CT・MRIのup-to-date』

座 長：伊東 克能（山口大学大学院医学系研究科 放射線医学講座）

演 者：福倉 良彦（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 放射線診断治療学）

『脾臓のCT・MRIのup-to-date』

岡田 宗正（山口大学医学部附属病院 放射線部）

『画像下治療に役立つ腹部の最新CT画像』

【リフレッシャーコース4（基調講演）】（日本専門医機構認定放射線科領域講習会）

バイエル薬品株式会社

日 時：6月29日（土）11：00～12：00

『腹部領域における最新の内科・外科治療と画像診断』

座 長：永野 浩昭（山口大学大学院 医学系研究科 消化器腫瘍外科）

伊東 克能（山口大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座）

演 者：中村 雅史（九州大学大学院 医学研究院 臨床・腫瘍外科）

『肝癌に対する外科治療 Up-To-Date』

豊田 秀徳（大垣市民病院 消化器内科）

『C型肝炎治療の劇的な進歩によるEOB-MRIの重要性・位置づけの変化』

【ランチョンセミナー】キャノンメディカルシステムズ株式会社

日 時：6月29日（土）12：10～13：10

『新しいCTが切り拓く腹部画像診断』

座 長：金澤 右（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科放射線医学）

演 者：大西 裕満（大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学教室）

『ディープラーニング再構成技術により飛躍する超高精細CT～令和の腹部画像診断への臨床応用～』

久保 貴俊（東京大学医学部附属病院 放射線科）

『IVRに役立つCT画像と解析技術～TACEでの臨床経験を中心に～』

7. 企業展示

企業展示（6月28日（金）～6月29日（土））

コニカミノルタジャパン株式会社、富士フイルムメディカル株式会社、横河医療ソリューションズ株式会社

8. 情報交換会

日 時：6月28日（金）18：15～

場 所：ポスター会場内

9. コンサート

「八神純子アコースティックLive コンサート」

日 時：6月28日（金）16：25～17：15

会 場：4F イベントホール

参 加：学会参加者 無料

学会参加者同伴者 無料

一般展示 ポスターの見本（A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合）

A4用紙を使った場合、上の欄には最大3列×4行、下の欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙を横置きで貼り付けることができます。

演題番号は事務局で準備します。			使用しません			135mm			
塞栓術で治療した Hemosucous Pancreaticus の1症例 魚山 聖史, 桐生 茂, 南 孝, 桑羽 正孝, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 三辺 慎, 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科			症例 ・ 68歳男性 ・ 主訴: 下血, 心窩部痛, 嘔吐, 冷汗 ・ 日本酒2合×2年 ・ 6月検診にて貧血指摘(Hb 8g)近血受診。7月頃下血が一度あり。8月に気分不快、悪心、嘔吐、下血があり、救急搬送入院。Hb 5g。吐血。OT、US行っても出血源不明。11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診。Hb 6.8と低下のため緊急入院。			入院後経過 ・ Hb 6.8 1g/d L CRP 43.3 mg/d ・ 正球性貧血 (RBC 227万 1/μL MOV 88.1) ・ amylase 158 IU/L p-amylase 74 IU/L ・ 緊急上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion へのみ血漿付着 ・ OT (一部目): 慢性膵炎増強、膵臓部に石灰化 ・ 小腸造影: 異常なし ・ HSA出血シンチ: 異常なし ・ 輸血OAP 2U×3回			60mm
図1. 腹部造影CT (1回目、造影剤) 			図2. 上腹部dynamic CT (2回目) 			図3. MPVR-MIP 			900mm
図4. 腹腔動脈造影 			図5. 上腹部dynamic CT (2回目) 膵石灰化に続いて胃十二指腸動脈(矢印)につながるように動脈瘤(矢印)を認める。			図6. 胃十二指腸動脈造影 後上胃十二指腸動脈動脈瘤近くに慢性動脈瘤を認める。この瘤は図3、4でも見えている。			60mm
塞栓術後の上腹部動脈造影にて、後下胃十二指腸動脈動脈瘤の近くに小さな慢性動脈瘤の増強を認めたが、膵炎の合併を認め、塞栓術は追加しなかった。 			5ヶ月後のERCP ・ 主膵管内に結石 ・ 膵管拡張			Hemosucous Pancreaticus ・ Sandblom P.(1970)が最初に報告 ・ 膵管からの大量の出血を指す ・ ほとんどものが慢性膵炎に伴うもの ・ 慢性膵炎の膵管内破損により膵管から出血 ・ その他に外傷性、富血性腫瘍の膵静脈、遠走静脈(風所性腫)などによるものも報告されている ・ 報告 65例 (塞栓術による治療例 9例)			900mm
Hemosucous Pancreaticus : 診断 ・ 出血は顕微鏡的なため、動脈から膵管への出血が推定されるはまれ。(Suter, 1996) ・ 内視鏡で主膵管からの出血をもつて診断(Moreno, 1985; Jacobs, 1992). ・ 内視鏡で不明なものは血管造影が有用(Shahani, 1994). ・ OTで慢性膵炎、動脈瘤。 ・ 3D-OTangiography も有用 (Makfield, 1997).			Hemosucous Pancreaticus : 治療 ・ 手術 ・ 膵部分切除、膵膵、動脈の結紮 ・ 塞栓術 ・ 動脈瘤の近位-遠位の塞栓			Hemosucous Pancreaticus ・ 慢性膵炎に慢性動脈瘤が合併する頻度は約10% (White, 1976; Hofer, 1987). ・ 慢性膵炎症例における消化管出血を見た場合には、この疾患を念頭に置いて詳細に診断する必要がある。			60mm
900mm			900mm			80mm			
この部分は見にくいので、掲示しないようにしてください。						80mm			
1160mm						80mm			

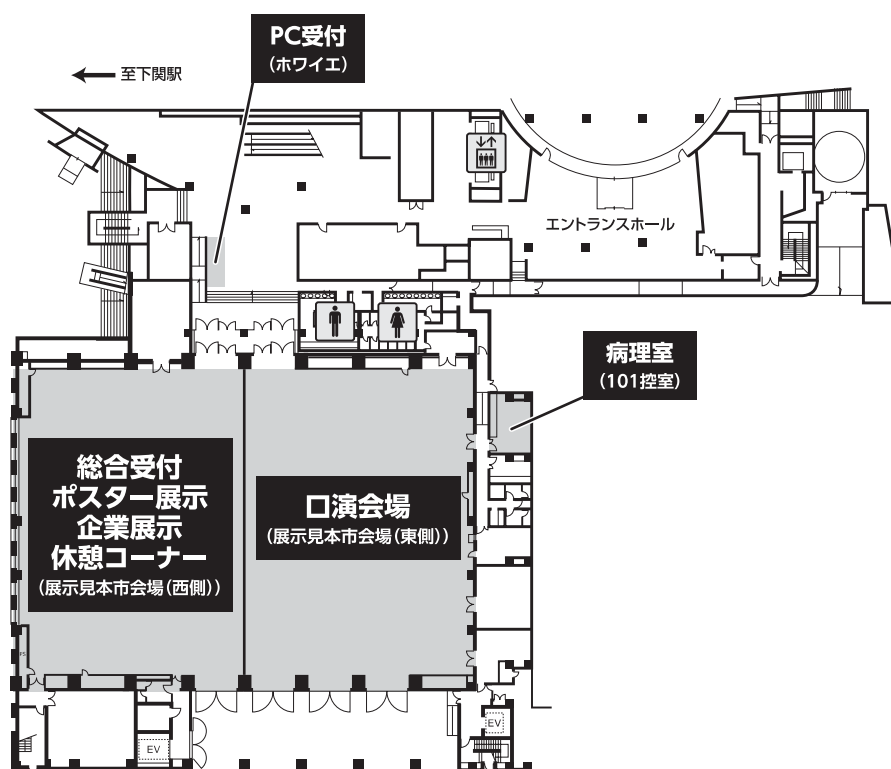
クイズポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、上の問題欄には3列×4行、下の解答・解説欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙を横置きで貼り付けることができます。

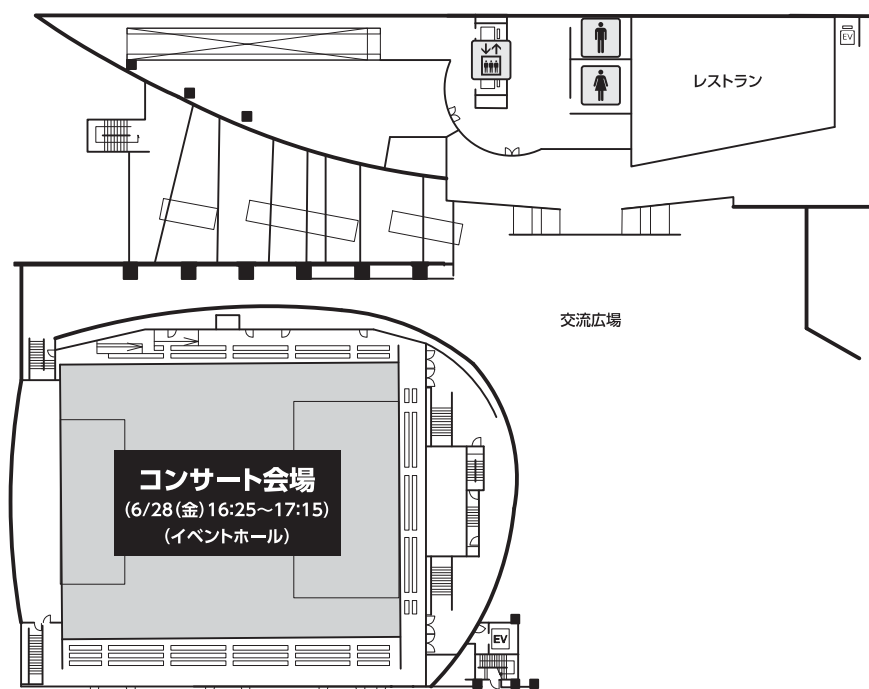
演題番号は事務局で準備します。		使用しません		135mm
図に番号をふっておくと解説の際に便利です (論文のように)				60mm
症例の主訴・簡単な経過 (診断名は伏せる)	症例 68歳男性 主訴: 下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗 日本酒2合×62年 8月秋診にて貧血指摘(0.8台)近重受診、7月頃下血が一度増し、9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血が再び増し、血便を認めた。10月、輸血、OT、US行っても出血源不明。11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診。Hb 8.8と低下のため緊急入院。	図1. 腹部造影CT (1回目、遅延相) 	図2. 上腹部dynamic CT (2回目) 脾石状に影して胃十二指腸腫瘍(矢印)につながるように膵腫瘍(矢印)を認める。	900mm
	図3. MPVR-MIP 	図4. 腹腔動脈造影 	画像所見の解説はここでは伏せて、どういう検査法かのみ示してください (Key pointがわかりにくい場合は矢印などをつけ、その解説は解答・解説欄で述べてください)	
	Key imageは繰り返して提示していただいてもかまいません。			
この線を境に、問題欄は上部パネルに、解答・解説欄は下部パネルに掲示します。				60mm
タイトル・発表者・施設名 その後の経過など 最終診断 解説	塞栓術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例 倉山 聖志, 櫻井 茂, 南 幸, 森羽 正幸, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 渡辺 佳, 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科	入院後経過 Hb 8.8 ↓ g/dl, CRP 0.3 mg/dl 正球性貧血 (RBC 227万 / μl, MCV 88.1) amylase 168 IU/L, p-amylase 74 ↑ IU/L 断金上下部内臓線 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion へのみ血液付着 OT (一注目): 慢性膵炎指摘、膵頭部に石灰化小腫瘍影 (異常なし) HSA出血シグナル (異常なし) 健血(MAP 2血3回)	図2. 上腹部dynamic CT (2回目) 	900mm
	図5. 胃十二指腸腫瘍造影 後上腹十二指腸腫瘍近接部に仮性腫瘍影を認める。この影は図3、4でも見えている。	最終診断 Hemosuccus Pancreaticus hemo=[O./a/m] blood suocus=[L.] juice	塞栓術後の上腹部腫瘍造影にて、後上腹十二指腸腫瘍近接部の近くにも小さな仮性腫瘍影の残存を認めたが、脾炎の合併を認め、塞栓術は追加しなかった。	
	Hemosuccus Pancreaticus ・Sandblom P (1970)が最初に報告 ・膵管からの大量の出血を指す ・ほとんどのが慢性膵炎に伴うもの ・仮性腫瘍影の膵管内破裂により膵管から出血 ・その他に外傷性、富血性腫瘍の膵転移、迷走脾 (異所性脾) などによるものも報告されている ・報告 65例 (塞栓術による治療例 9例)	Hemosuccus Pancreaticus : 診断 出血は間欠的のため、腫瘍から膵管への出血が描出されるのはまれ。(Suter, 1995) 内視鏡で主膵管からの出血をもって診断(Moraw, 1993; Jacobs, 1992). 内視鏡で不顕性ものは血管造影が有用 (Shahani, 1994). ・OTで慢性膵炎、膵腫瘍。 ・3D-OTangiography も有用 (Maltzfeldt, 1997).	必要な場合はreferenceを加えてください。	
この部分は見にくいので、掲示しません。				80mm
1160mm				

会場フロア図

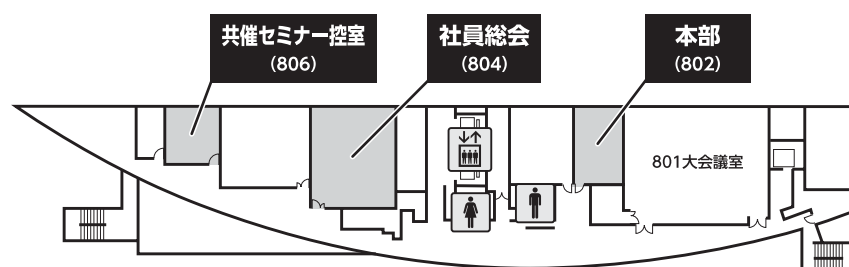
1F



4F



8F



第 33 回 日本腹部放射線学会 日程表

6 月 28 日(金)		6 月 29 日(土)	
8:00		8:00	
	9:00~9:05 開会の挨拶	8:00~9:00	リフレッシャーコース 3 (日本専門医機構認定放射線科領域講習会)
9:00		9:00	
	9:05~9:45 子宮 (O-1 ~ O-5)	9:10~10:04 消化管・腸間膜・腹腔 (O-30 ~ O-35)	
10:00	9:45~10:25 卵巣 (O-6 ~ O-10)	10:04~10:40 泌尿・後腹膜 (O-36 ~ O-39)	
11:00	10:30~11:15 大会長公募症例 GU (O-11 ~ O-16)	10:50~11:00 クイズ症例優秀者表彰	
		11:00~12:00 リフレッシャーコース 4 (基調講演) (日本専門医機構認定放射線科領域講習会)	
12:00	11:25~12:25 リフレッシャーコース 1 (日本専門医機構認定放射線科領域講習会) ※終了後、昼食を配布いたします		
		12:10~13:10 ランチョンセミナー	
13:00	12:35~13:10 昼食・ポスター閲覧 12:35~13:10 社員総会(世話人会) 会場: 8F 804	13:00	
	13:10~13:37 胆道・胆嚢・脾臓 (O-17 ~ O-19)		
14:00	13:37~14:20 脾臓 (O-20 ~ O-24)	13:20~14:05 打田賞受賞講演・次回 ACAR 告知	
		14:05~14:20 JSAR 総会	
15:00	14:20~15:00 大会長公募症例 GI (O-25 ~ O-29)	14:20~15:00 腎臓 (O-40 ~ O-44)	
16:00	15:10~16:10 リフレッシャーコース 2 (日本専門医機構認定放射線科領域講習会)	15:10~16:06 肝臓 1 (O-45 ~ O-51)	
		16:06~16:55 肝臓 2 (O-52 ~ O-57)	
17:00	16:25~17:15 [4F イベントホール] コンサート 「八神純子アコースティック Live コンサート」	16:55~17:00 閉会の挨拶	
18:00	17:30~18:15 [ポスター会場] ポスターディスカッション / クイズ症例解答発表	18:00	
	18:15~ 情報交換会 [ポスター会場]		

9:00~9:05 開会の挨拶

9:05~9:45 セッション1 子宮 (5題)

座 長 藤井 進也 (鳥取大学医学部 画像診断治療学分野)
コメンテーター 清川 貴子 (東京慈恵会医科大学 病理学講座)

O-1 ポリプ状腺筋腫と内膜ポリプのMR画像所見の検討

川口 真矢、加藤 博基、松尾 政之
岐阜大学医学部 放射線科

O-2 子宮筋腫赤色変性様のMRI所見を呈した平滑筋肉腫の1例

落合 諒也、藤井 進也、石橋 愛、福永 健、村上 敦史
鳥取大学医学部 病態解析医学講座 画像診断治療学分野

O-3 術前診断が可能であった脂肪肉腫成分を含む子宮癌肉腫の1例

中山詩穂莉^{1,2}、田中優美子²、岡本三四郎³、竹島 信宏³、高澤 豊⁴、松枝 清²、
岡田 真広¹
日本大学医学部 放射線医学系放射線医学分野¹、がん研究会有明病院 画像診断部²、
がん研究会有明病院 婦人科³、がん研究会有明病院 病理部⁴

O-4 急速な進行を示したPeutz-Jeghers症候群合併胃型粘液性癌の1例

澁木 紗季¹、齋田 司¹、志鎌あゆみ²、坂下 麻衣³、坂田 晃子³、吉田 美貴¹、
岡本 嘉一¹、佐藤 豊実²、南 学¹
筑波大学附属病院 放射線診断・IVR¹、筑波大学附属病院 産婦人科²、
筑波大学附属病院 病理診断科³

O-5 リンパ節病変を伴った子宮adenomatoid tumorの1例

脇田 佑哉¹、高濱 潤子¹、山内 哲司¹、岡田 博司²、丸上 永晃²、伊藤 高広¹、
平井都始子²、吉川 公彦¹、内山 智子³、大林 千穂³、松原 翔⁴、小林 浩⁴
奈良県立医科大学 放射線科・IVRセンター¹、奈良県立医科大学 総合画像診断センター²、
奈良県立医科大学 病理診断科³、奈良県立医科大学 産婦人科⁴

9:45~10:25 セッション2 卵巣 (5題)

座 長 木戸 晶 (京都大学医学部附属病院 放射線診断科)
コメンテーター 清川 貴子 (東京慈恵会医科大学 病理学講座)

O-6 虫垂粘液腫と左卵巣のう胞性腫瘍の捻転を合併し切除に至った1例

原 武史¹、和田 裕子¹、矢吹 隆行¹、尾形 毅¹、伊藤 裕徳²、金澤 右³
岩国医療センター 放射線科¹、岩国医療センター 産婦人科²、岡山大学 放射線科³

O-7 虫垂杯細胞型カルチノイド及び低異型度虫垂粘液性腫瘍の卵巢転移の画像所見

坪山 尚寛¹、森 清²、赤木 佳奈³、巽 啓司³、三宅 正和⁴、栗山 啓子¹
大阪医療センター 放射線診断科¹、大阪医療センター 病理診断科²、
大阪医療センター 産婦人科³、大阪医療センター 外科⁴

O-8 成熟奇形種に関連した上皮内癌を伴う卵巢粘液性境界悪性腫瘍の1例

北井 里実¹、尾上 薫¹、三石 雄大²、矢内原 臨³、清川 貴子²、尾尻 博也¹
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座¹、東京慈恵会医科大学 病理学講座²、
東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座³

O-9 Mucinous borderline tumor concomitant with strumal carcinoidの1例

塚部 明大¹、綿谷 朋大¹、矢野 圭吾¹、田中淳一郎¹、中西 克之¹、木村 敏啓²、
上浦 祥司²、長田 盛典³
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR科¹、
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 婦人科²、
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科³

O-10 Seromucinous carcinomaの一症例

倉田 靖桐¹、日野田卓也¹、革島 定幸¹、上田 浩之¹、吉岡 信也²、山下 大祐³、
原 重雄³
神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科¹、
神戸市立医療センター中央市民病院 産婦人科²、神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科³

10:30~11:15 セッション3 大会長公募症例GU (6題): 富士製薬工業株式会社

座 長 田中優美子 (がん研究会有明病院)
コメンテーター 清川 貴子 (東京慈恵会医科大学 病理学講座)

O-11 FATWO (Female adnexal tumor of probable Wolffian origin) の1例

蟹江悠一郎¹、三森 天人¹、和仁 洋治²、井上 大作¹、松原伸一郎¹、河原 道子¹、
武本 充広¹
姫路赤十字病院 放射線科¹、姫路赤十字病院 病理診断科²

O-12 卵管間膜に発生したFemale adnexal tumor of probable Wolffian originの1例

仲谷 元¹、日下部将史¹、風岡 純一^{1,2}、白田 剛¹、坂本 直也¹、金島 理紗¹、
宮脇 恵未¹、鈴木 藍子¹、大澤まりえ¹、早川 弥生¹、村上 瑞穂¹、白水 一郎¹、
山田 晴耕¹、上野山麻水³、杉田 匡聡³、堀内 啓⁴、森川 鉄平⁴
NTT東日本関東病院 放射線部¹、日本赤十字社さいたま赤十字病院 放射線診断科²、
NTT東日本関東病院 産婦人科³、NTT東日本関東病院 病理診断科⁴

O-13 捻転を伴ったfemale adnexal tumor of probable Wolffian origin (FATWO) の1例

伊藤 久尊¹、坂田 悦郎¹、小山 貴¹、能登原憲司²、長谷川雅明³
倉敷中央病院 放射線診断科¹、倉敷中央病院 病理診断科²、倉敷中央病院 産婦人科³

O-14 卵巣癌を疑ったWolffian Tumorの1例

森岡 梢¹、影山 咲子²、菅井 幸雄³
山形県立中央病院 放射線科¹、東北大学病院 放射線診断科²、至誠堂総合病院 放射線科³

O-15 悪性 female adnexal tumor of probable wolffian origin (FATWO) の1例

棕田奈保子¹、加藤亜結美¹、村上 敦史¹、福永 健¹、石橋 愛¹、柿手 卓²、
仲松 暁²、大内 泰文²、藤井 進也¹
鳥取大学医学部 病態解析医学講座画像診断治療学分野¹、松江赤十字病院 放射線科²

O-16 画像で Female Adnexal Tumor of probable Wolffian Origin (FATWO) の予後推定は？

田中優美子^{1,2}、近藤 譲³、新井ゆう子⁴、市川 良太⁴、西田 正人⁴、櫻井 学⁵、
坂田 晃子⁶、松岡 亮太⁶、齋田 司⁷、佐藤 豊実⁵、野口 雅之⁸、南 学⁷、
松枝 清¹
がん研究会 有明病院 画像診断部¹、筑波大学附属病院 放射線科²、
国立病院機構 霞ヶ浦医療センター 病理診断科³、国立病院機構 霞ヶ浦医療センター 産婦人科⁴、
筑波大学 医学医療系 産婦人科学⁵、筑波大学附属病院 病理診断科⁶、
筑波大学 医学医療系 放射線医学⁷、筑波大学 医学医療系 診断病理学⁸

11:25~12:25 リフレッシャーコース1 (日本専門医機構認定放射線科領域講習会)

『MRI技術イノベーションがもたらす臨床ベネフィット』

共 催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

座 長：村上 卓道 (神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線診断学分野)

『上腹部領域のMRI up to date』

演 者：渡谷 岳行 (東京大学医学部附属病院 放射線科)

『婦人科領域のMRI up to date』

演 者：竹内麻由美 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 放射線医学分野)

12:35~13:10 社員総会 (世話人会)

13:10~13:37 セッション4 胆道・胆嚢・脾臓 (3題)

座 長 福倉 良彦 (鹿児島大学 放射線診断治療学教室)
コメンテーター 星井 嘉信 (山口大学医学部附属病院 病理診断科)

O-17 脾sclerosing angiomatoid nodular transformation (SANT) の1例

秦野 基貴、林 香奈、三宅 庸介、岩田 賢治、山森 瑛子、島村 泰輝、
上嶋 佑樹、北 大祐、白木 法雄、佐々木 繁、原 眞咲
名古屋市長西部医療センター 前期臨床研修医

O-18 黄疸で発見されたintracystic papillary neoplasm of the gallbladder (ICPN) の1例

光野 重芝¹、大野 豪¹、染矢 祐子¹、佐藤 敏之¹、中井 浩嗣¹、徳永 幸史¹、
今峰 倫平¹、川原 清哉¹、清水 大功¹、有蘭 茂樹¹、古田 昭寛¹、磯田 裕義¹、
平田 理子²、秦 浩一郎³、田浦康二朗³、上本 伸二³、前田 紘奈⁴、羽賀 博典⁴、
富樫かおり¹

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学)¹、
京都大学医学部附属病院 消化器内科²、京都大学医学部附属病院 肝胆脾・移植外科³、
京都大学医学部附属病院 病理診断科⁴

O-19 肝門部と脾尾部に腫瘍のみられた1例

伊藤 浩一¹、上田 和彦¹、武田 剛志²、笹平 直樹²、井上 陽介³、佐藤由紀子⁴、
稲村健太郎⁴、高澤 豊⁴、平塚真生子¹、藤原 良将¹、松枝 清¹
がん研究会有明病院 画像診断部¹、がん研究会有明病院 消化器内科²、
がん研究会有明病院 消化器外科³、がん研究会有明病院 病理部⁴

13:37~14:20 セッション5 脾臓 (5題)

座 長 入江 裕之 (佐賀大学医学部放射線科)
コメンテーター 星井 嘉信 (山口大学医学部附属病院 病理診断科)

O-20 血管造影検査が診断の一助となった脾血管腫の1症例

矢ヶ部浩之¹、小橋 優子¹、増田 耕一¹、山添 真治¹、最上 拓児¹、瀧川 穰²、
松井 淳一²、佐々木 文³
東京歯科大学市川総合病院 放射線科¹、東京歯科大学市川総合病院 外科²、
東京歯科大学市川総合病院 臨床検査科³

O-21 特徴的な画像所見を呈した脾過誤腫の1例

遠山 兼史¹、松坂 陽至¹、久保田直人²、眞杉 洋平²、坂元 亨宇²、北郷 実³、
奥田 茂男¹、陣崎 雅弘¹
慶應義塾大学医学部 放射線科学教室 (診断)¹、慶應義塾大学医学部 病理学教室²、
慶應義塾大学医学部 外科学教室³

O-22 膵神経内分泌腫瘍と鑑別が問題となったsolid subtypeの膵漿液性嚢胞腫瘍の1例

禹 潤¹、原留 弘樹¹、海津 貴史²、眞山 到³、井上 優介¹

北里大学病院 放射線診断学¹、北里大学病院 一般・消化器外科²、北里大学病院 病理診断部³

O-23 膵頭部発生が疑われる腺癌合併成熟嚢胞性奇形腫の1例

藤本 憲吾、田中 賢一、井原あゆ美、佐野村隆行、西山 佳宏

香川大学医学部 放射線医学講座

O-24 膵臓子宮内膜症の1例

代田 夏彦¹、佐口 徹¹、勇内山大介¹、高木 睦郎²、飯島 広和²、数納 祐馬²、
山本 龍一³、須田 耕一⁴、斎藤 和博¹

東京医科大学病院 放射線医学分野¹、東京西徳州会病院 消化器外科²、
東京西徳州会病院 消化器内科³、東京西徳州会病院 病理科⁴

14:20~15:00 セッション6 大会長公募症例GI (5題): 富士製薬工業株式会社

座 長 小山 貴 (倉敷中央病院放射線診断科)

コメンテーター 星井 嘉信 (山口大学医学部附属病院 病理診断科)

O-25 G-CSF産生肝内胆管癌の1例

外園 英光、神吉 昭彦、八十川和哉、玉田 勉

川崎医科大学 放射線診断学教室

O-26 G-CSF産生肝悪性腫瘍の1例

有菌 茂樹¹、古田 昭寛¹、清水 大功¹、大野 豪¹、光野 重芝¹、徳永 幸史¹、
中井 浩嗣¹、佐藤 敏之¹、染矢 祐子¹、磯田 裕義¹、片岡 竜貴²、富樫かおり¹

京都大学医学部附属病院 放射線診断科¹、京都大学医学部附属病院 病理診断科²

O-27 G-CSF産生胆嚢癌の1例

徳永 幸史¹、古田 昭寛¹、有菌 茂樹¹、平田 勝啓²、片岡 竜貴²、高井 淳³、
近藤 知大⁴、磯田 裕義¹、富樫かおり¹

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学)¹、
京都大学医学部附属病院 病理診断科²、京都大学医学部附属病院 消化器内科³、
京都大学医学部附属病院 腫瘍内科⁴

O-28 剖検でG-CSF産生腫瘍と診断された胆嚢癌の1例

光野 重芝¹、古田 昭寛¹、有菌 茂樹¹、磯田 裕義¹、上田 佳秀²、平田 勝啓³、
片岡 竜貴³、富樫かおり¹

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学)¹、
京都大学医学部附属病院 消化器内科²、京都大学医学部附属病院 病理診断科³

O-29 G-CSF産生食道癌の1例

中尾 聖、田辺 昌寛、伊東 克能
山口大学医学部附属病院 放射線科

15:10～16:10 リフレッシャーコース2（日本専門医機構認定放射線科領域講習会）

『上腹部・下腹部画像診断 おさえておくべきポイント』

共 催：ゲルベ・ジャパン株式会社

座 長：粟井 和夫（広島大学）

『造影CTを用いた上腹部臓器の線維化定量』

演 者：祖父江慶太郎（神戸大学）

『泌尿器科医の問い合わせで学んだこと -腎、尿管領域-』

演 者：本田有紀子（広島大学）

16:25～17:15 コンサート

17:30～18:15 ポスターディスカッション/クイズ症例解答発表

18:15～ 情報交換会

8:00~9:00 リフレッシャーコース3 (日本専門医機構認定放射線科領域講習会)

『腹部CT・MRIのup-to-date』

共 催：シーメンスヘルスケア株式会社

座 長：伊東 克能 (山口大学大学院医学系研究科 放射線医学講座)

『脾臓のCT・MRIのup-to-date』

演 者：福倉 良彦 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 放射線診断治療学)

『画像下治療に役立つ腹部の最新CT画像』

演 者：岡田 宗正 (山口大学医学部附属病院 放射線部)

9:10~10:04 セッション7 消化管・腸間膜・腹腔 (6題)

座 長 松本 俊郎 (大分大学医学部 放射線医学講座)

コメンテーター 都築 豊徳 (愛知医科大学病院 病理診断科)

**O-30 アルコール性肝硬変に発症したAFP, PIVKA-II産生胃癌の
多発肝転移**

岩佐 瞳¹、村田 和子¹、沖 裕昌²、西原 利治²、戸井 慎³、井口みつこ³、
山上 卓士¹

高知大学医学部 放射線医学講座¹、高知大学 第一内科²、高知大学 病理診断部³

O-31 胃前庭部に発生した異所性脾癌の1例

木村浩一朗¹、齋田 幸久¹、金本 栄美²、谷岡 利朗²、中川 正敏²、廣田 由佳³、
根本真理子³、明石 巧³、立石宇貴秀¹

東京医科歯科大学医学部附属病院 放射線診断科¹、東京医科歯科大学医学部附属病院 胃外科²、
東京医科歯科大学医学部附属病院 病理部³

O-32 虫垂粘液腫が肝臓に穿破したと思われた1例

沼本 勲男¹、松本 充¹、土居 秀平¹、鈴木 絢子¹、小田 晃義¹、門場 智也¹、
藤谷 哲也¹、松久保祐子¹、山田 穰¹、兵頭 朋子¹、任 誠雲¹、甲斐田勇人¹、
柳生 行伸¹、小塚 健倫¹、柏木 伸夫¹、鶴崎 正勝¹、細野 眞¹、田北 雅弘²、
家根 由典³

近畿大学医学部 放射線診断学教室¹、近畿大学医学部 消化器内科²、近畿大学医学部 外科³

**O-33 無症候性小腸穿通を伴った腸間膜原発Burkitt-like lymphomaの
1例**

堀江 卓士^{1,2}、舟山 慧¹、石松 久人³、大島 健志³、佐藤 真輔³、新井 一守⁴、
加藤 聡¹、本杉宇太郎²、大西 洋²

静岡県立総合病院 放射線科¹、山梨大学医学部附属病院 放射線科²、
静岡県立総合病院 消化器外科³、静岡県立総合病院 病理診断科⁴

O-34 脾限局性周囲腫瘤として初発し急激な増悪を示した悪性腹膜中皮腫の1例

染矢 祐子¹、古田 昭寛¹、中井 浩嗣¹、佐藤 敏之¹、光野 重芝¹、徳永 幸史¹、
大野 重矢子¹、大野 豪¹、今峰 倫平¹、川原 清哉¹、清水 大功¹、有蘭 茂樹¹、
穴澤 貴行²、高橋 健³、前田 紘奈⁴、磯田 裕義¹、富樫 かおり¹

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）¹、
京都大学大学院医学研究科 外科学講座、肝胆膵・移植外科学分野²、
京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座³、京都大学医学部附属病院 病理診断科・病理部⁴

O-35 脾動脈形成不全の2例

太田 崇詞、堀 雅敏、大西 裕満、中本 篤、福井 秀行、小川 和也、
巽 光朗、富山 憲幸

大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学教室

10:04~10:40 セッション8 泌尿・後腹膜（4題）

座 長 梶 靖（獨協医科大学医学部 放射線医学講座）
コメンテーター 都築 豊徳（愛知医科大学病院 病理診断科）

O-36 副腎のPerivascular epithelioid cell tumor（PEComa）の1例

松井沙友里¹、秋田 大宇¹、篠島 利明²、亀山 香織³、大家 基嗣²、陣崎 雅弘¹
慶應義塾大学医学部 放射線科学教室（診断）¹、慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室²、
慶應義塾大学病院 病理診断科³

O-37 Giant multilocular cystadenoma of the prostateの1例

山崎 雅弘、小林 佳子、寺山 昇、林 典宏、林 伸一、三輪 重治
高岡市民病院 放射線科

O-38 術前診断が可能であった横隔膜由来後腹膜気管支原性嚢胞の1例

天野 太史、那須 克宏、星合 壮大、森 健作、南 学
筑波大学附属病院 放射線科 放射線診断・IVRグループ

O-39 膵臓原発の悪性腫瘍と鑑別が困難であった後腹膜脂肪肉腫の1例

戸田 悠介¹、吉田 直²、帯包 妃代³、中山詩穂莉¹、宮内 貴弘¹、田江健一郎¹、
渋谷 和¹、塚田 実郎¹、衣袋 健司¹、岡田 真広¹
日本大学医学部 放射線医学分野画像診断学部門¹、日本大学医学部 消化器外科²、
日本大学医学部 人体病理学分野³

10:50~11:00 クイズ症例優秀者表彰

口演 6月29日(土)

11:00~12:00 リフレッシャーコース4 (基調講演) (日本専門医機構認定放射線科領域講習会)

『腹部領域における最新の内科・外科治療と画像診断』

共 催：バイエル薬品株式会社

座 長：永野 浩昭 (山口大学大学院 医学系研究科 消化器腫瘍外科)

伊東 克能 (山口大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座)

『膵癌に対する外科治療 Up-To-Date』

演 者：中村 雅史 (九州大学大学院 医学研究院 臨床・腫瘍外科)

『C型肝炎治療の劇的な進歩によるEOB-MRIの重要性・位置づけの変化』

演 者：豊田 秀徳 (大垣市民病院 消化器内科)

12:10~13:10 ランチョンセミナー

『新しいCTが切り拓く腹部画像診断』

共 催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

座 長：金澤 右 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科放射線医学)

『ディープラーニング再構成技術により飛躍する超高精細CT ～令和の腹部画像診断への臨床応用～』

演 者：大西 裕満 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学教室)

『IVRに役立つCT画像と解析技術～ TACEでの臨床経験を中心に～』

演 者：久保 貴俊 (東京大学医学部附属病院 放射線科)

13:20~14:05 “Prof. Uchida Award” winning lectures & Announcement of ACAR2020

Moderators : Manabu Minami (University of Tsukuba)
Wey Chyi Teoh (Changi General Hospital, Singapore)
Conferrers : Osamu Matsui (Kanazawa University)
Hiromu Mori (Nagato Memorial Hospital)
Katsuyoshi Ito (Yamaguchi University)

GI section, Oral :

Imaging findings of hemorrhagic hepatic cysts with enhancing mural nodules

Department of Diagnostic Imaging and Nuclear Medicine,
Kyoto University Graduate School of Medicine Shigeshi Kohno

GU section, Oral :

Duodenal obstruction induced by retroperitoneal progression of bladder cancer: A report of two cases

Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine,
Kyoto University Graduate School of Medicine Koji Tokunaga

GI section, Poster :

Comparison of characteristic computed tomographic findings of gastrointestinal and non-gastrointestinal stromal tumors in the small intestine

Department of Radiology, Shiga University of Medical Science Akitoshi Inoue

GU section, Poster :

MR findings of uterine PEComa in patients with tuberous sclerosis: report of four cases

Department of Diagnostic Imaging and Nuclear Medicine,
Kyoto University Graduate School of Medicine Naoko Nishio

14:05~14:20 JSAR総会

14:20~15:00 セッション9 腎臓 (5題)

座 長 山本 亮 (川崎医科大学放射線診断学)
コメンテーター 都築 豊徳 (愛知医科大学病院 病理診断科)

O-40 Xp11.2 転座型腎癌の1例

信澤 宏¹、鈴木 理仁²、寺戸 雄一³、加藤 生真⁴、古屋 充子⁴、長嶋 洋治⁵
川崎幸病院 放射線診断科¹、川崎幸病院 泌尿器科²、川崎幸病院 病理科³、
横浜市立大学 分子病理学講座⁴、東京女子医科大学病院 病理診断科⁵

O-41 長期経過観察中の腎オンコサイトーマ内部に圧排性に 発育した乳頭状腎細胞癌の1例

神尾 諭¹、石井 仁也¹、児山 博亮¹、村上 荒雄¹、鈴木 藍子¹、南 学²、
小西 徹³、山口 晴臣⁴、塩田 沙織⁵、井上 久子⁶、植草 利公⁶、三上 耕治⁷、
武内 巧⁷、松田 出¹
関東労災病院 放射線診断科¹、筑波大学 放射線科²、東京大学 大学院医学系研究科³、
埼玉医科大学国際医療センター 放射線科⁴、帝京大学医学部附属病院 放射線科⁵、
関東労災病院 病理診断科⁶、関東労災病院 泌尿器科⁷

O-42 画像上リンパ腫が疑われた腎サルコイドーシスの1例

佐藤 貴浩¹、本杉宇太郎¹、大西 洋¹、加藤 良平²、川井 将敬²、北村健一郎³、
四方 美穂³
山梨大学医学部附属病院 放射線医学講座¹、山梨大学医学部附属病院 人体病理学講座²、
山梨大学医学部附属病院 内科学講座第3教室³

O-43 腎臓に発生したSolitary Fibrous Tumorの1例

大島亜由佳¹、斉藤 彰俊²、萩本 貴志³、小山 敏雄⁴
山梨県立中央病院 臨床研修センター¹、山梨県立中央病院 放射線科²、
山梨県立中央病院 泌尿器科³、山梨県立中央病院 病理部⁴

O-44 低悪性度多房嚢胞性腎腫瘍のCT画像所見

山元 龍哉¹、河野 敦¹、松枝 清¹、駒井 好信²、山本 真也²、米瀬 淳二²、
稲村健太郎³

がん研究会有明病院 画像診断部¹、がん研究会有明病院 泌尿器科²、がん研究会有明病院 病理部³

15:10~16:06 セッション10 肝臓1 (7題)

座 長 小林 聡 (金沢大学 量子医療技術学講座)

コメンテーター 伊藤 浩史 (山口大学大学院医学系研究科分子病理学講座)

O-45 胆管腺腫を背景に発生した肝内胆管癌の1例

南口貴世介¹、丸上 永晃²、立入 哲也¹、太地 良佑¹、丸上 亜希²、高濱 潤子¹、
平井都始子²、吉川 公彦¹、森田 剛平³、野見 武男⁴

奈良県立医科大学 放射線科・IVRセンター¹、奈良県立医科大学 総合画像診断センター²、
奈良県立医科大学 病理診断学講座³、奈良県立医科大学 消化器外科⁴

O-46 興味ある画像所見を呈した肝内胆管癌の1例

伊藤 茂樹¹、富家 未来¹、河合 雄一¹、神原 祐一²、吉岡裕一郎²、小出 知美³、
藤野 雅彦³

名古屋第一赤十字病院 放射線診断科¹、名古屋第一赤十字病院 外科²、
名古屋第一赤十字病院 病理部³

O-47 肝血管肉腫と胆嚢癌の同時性重複がんの1例

河合 信行¹、五島 聡¹、野田 佳史¹、川田 紘資¹、棚橋 裕吉¹、永田 翔馬¹、
藤本 敬太¹、加賀 徹郎¹、松尾 政之¹、今井 寿²、松井 聡²、波多野裕一郎³
岐阜大学 放射線科¹、岐阜大学 腫瘍外科²、岐阜大学 病理診断科³

O-48 巨大な肝原発悪性中皮腫の1例

山本 貴浩¹、頼住 美穂¹、越川 優¹、浅井あゆみ¹、成田 晶子¹、池田 秀次¹、
太田 豊裕¹、鈴木耕次郎¹、大澤 高陽²、露木 啄司³

愛知医科大学病院 放射線科¹、愛知医科大学病院 消化器外科²、愛知医科大学病院 病理診断科³

O-49 腓神経内分泌腫瘍の肝転移と鑑別が困難であった限局性結節性過形成の1例

小橋 優子¹、矢ヶ部浩之¹、増田 耕一¹、山添 真治¹、最上 拓児¹、瀧川 穰²、
松井 淳一²、佐々木 文³

東京歯科大学市川総合病院 放射線科¹、東京歯科大学市川総合病院 外科²、
東京歯科大学市川総合病院 病理³

O-50 糖尿病患者に発生し肝細胞腺腫が疑われた脂肪含有肝腫瘍の1例

土田 千賀¹、岩崎 俊子¹、大槻 忠良²、泉 俊昌²、河原 栄³、中沼 安二⁴

福井総合病院 放射線科¹、福井総合病院 外科²、福井総合病院 病理診断科³、
福井県済生会病院 病理診断科⁴

O-51 C型肝硬変経過観察中に出現し細胆管癌と鑑別を要した confluent hepatic fibrosisの1例

尾崎 公美^{1,4}、竹下 雅樹²、庄司 泰弘²、藤村 隆²、斎藤 勝彦³、草開 公帆⁴、
木村 浩彦¹、蒲田 敏文⁵、松井 修⁵

福井大学医学部 病態解析医学講座放射線医学¹、富山市立富山市民病院 外科²、
富山市立富山市民病院 病理診断科³、富山市立富山市民病院 放射線科⁴、
金沢大学附属病院 放射線科⁵

16:06～16:55 セッション11 肝臓2 (6題)

座 長 吉満 研吾 (福岡大学医学部 放射線医学教室)
コメンテーター 伊藤 浩史 (山口大学大学院医学系研究科分子病理学講座)

O-52 卵巣steroid cell tumorの肝臓・後腹膜転移の1例

建部 祥帆¹、黒川 遼¹、渡谷 岳行¹、阿部 修¹、曾根 献文²、松本 陽子²、
大須賀 穰²、藤井 知行²、山澤 翔³、堂本裕加子³

東京大学医学部附属病院 放射線科¹、東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科／女性外科²、
東京大学医学部附属病院 病理部³

O-53 肝類上皮血管内皮腫の1例

中村 優子¹、成田 圭吾¹、赤木 元紀¹、本田有紀子¹、立神 史稔¹、飯田 慎¹、
粟井 和夫¹、小林 剛²、大段 秀樹²、城間 紀之³、有廣 光司³

広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 放射線診断学¹、広島大学大学院 外科学²、
広島大学病院 病理診断科³

O-54 胸郭内病変を有さず診断に苦慮した肝サルコイドーシスの1例

藤本 敬太¹、野田 佳史¹、河合 信行¹、五島 聡¹、川田 紘資¹、棚橋 裕吉¹、
松尾 政之¹、田口皓一郎²、森田 浩之²、上村 真也³、清水 雅仁³、金山 知弘⁴、
宮崎 龍彦⁴

岐阜大学 放射線科¹、岐阜大学 総合内科²、岐阜大学 消化器内科³、岐阜大学 病理診断科⁴

O-55 悪性肝腫瘍との鑑別が画像上困難であったfollicular hyperplasiaの1例

勇内山大介¹、松林 純²、永川 裕一³、佐原 八束³、谷川 真希²、長尾 俊孝²、
齋藤 和博¹

東京医科大学 放射線医学分野¹、東京医科大学 人体病理学分野²、
東京医科大学 消化器外科・小児科学分野³

O-56 嚢状拡張したLuschka管が胆嚢摘出術後に増大し、MRIで変化を 経時的に追跡できた1例

佐藤 圭亮、浦川 博史、坂本 桂子、吉満 研吾
福岡大学医学部 放射線科教室

O-57 肝浸潤を伴った好酸球増多症の1例

岡田加奈子¹、松田 恵¹、海老原るい¹、津田 孝治¹、田中 宏明¹、望月 輝一¹、
谷本 一史²、竹中 克斗²、金本麻友美³、田中 孝明³、吉田 理³、日浅 陽一³、
北澤 理子⁴、北澤 莊平⁴、八木 大⁵

愛媛大学医学部 放射線科¹、愛媛大学医学部 第1内科²、愛媛大学医学部 第3内科³、
愛媛大学医学部 病理部⁴、西条市立周桑病院 放射線科⁵

16:55～17:00 閉会の挨拶

ポスター展示

ポスター発表 肝臓1

座 長 西江 昭弘 (九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野)

P-1 肝細胞癌との鑑別に苦慮した肝血管筋脂肪腫の2例

宮内 貴弘、中山詩穂莉、山城 啓太、渋谷 和、奥畑 好啓、田江健一郎、
松本 隆之、戸田 悠介、塚田 実郎、衣袋 健司、岡田 真広
日本大学医学部附属板橋病院 放射線医学

P-2 肝外性に巨大腫瘤を形成して診断に苦慮した肝細胞癌の1例

吉田 篤史、山本 貴之、河田裕二郎、油谷 英孝、井高恵利香、松代 啓吾、
弓削 瞬介、上村 尚文、延原 正英、菅 剛、西本 優子、谷口 尚範、
野間 恵之
天理よろづ相談所病院 放射線部診断部門

P-3 画像上、悪性腫瘍と鑑別困難であったsolitary necrotic noduleと考えられた1例

清永 麻紀¹、高司 亮¹、山田 康成¹、松本 俊郎¹、増田 崇²、平下禎二郎²、
遠藤 裕一²、岩下 幸雄²、駄阿 勉³、泥谷 直樹⁴
大分大学医学部 放射線医学講座¹、大分大学医学部 消化器・小児科学講座²、
大分大学医学部 診断病理学講座³、大分大学医学部 分子病理学講座⁴

P-4 陽子線照射後の肝細胞癌の再発診断におけるDWI/ADC map併用の有用性の検討

高橋 宏彰¹、益岡 壮太¹、坂下 信悟²、関野 雄太³、高橋 一広⁴、奥村 敏行³、
那須 克宏¹、森 健作¹、南 学¹
筑波大学附属病院 放射線診断IVR科¹、筑波大学附属病院 病理診断科²、
筑波大学附属病院 放射線腫瘍科³、筑波大学附属病院 消化器外科⁴

P-5 肝臓原発カルチノイドの1例

何澤 信礼¹、谷川 昇¹、稲葉 正美²、寺沢 理香¹、友田 篤¹
関西医科大学 放射線科¹、関西医科大学 病理²

ポスター発表 肝臓2

座 長 中村 優子 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科放射線診断学)

P-6 肝転移の破裂をきたした胸腺腫の1例

海老原るい¹、松田 恵¹、津田 孝治¹、岡田加奈子¹、田中 宏明¹、望月 輝一¹、
砂金光太郎²、日浅 陽一²、坂元 克孝³、高田 泰次³、重松 久之⁴、泉谷 裕則⁴、
倉田 美恵⁵、福島 万奈⁵、北澤 理子⁵
愛媛大学医学部附属病院 放射線科¹、愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科²、
愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵外科³、愛媛大学医学部附属病院 心臓血管・呼吸器外科⁴、
愛媛大学医学部附属病院 病理部⁵

P-7 Multicystic biliary hamartoma of the liver

金谷 麻央¹、阿保 齊¹、八木 俊洋¹、齊藤 順子¹、望月健太郎¹、出町 洋¹、
天谷 公司²、清水 康一²、中西ゆう子³、石澤 伸³
富山県立中央病院 放射線診断科¹、富山県立中央病院 外科²、富山県立中央病院 病理診断科³

P-8 CTにて胆道系との交通が疑われた肝粘液性嚢胞性腫瘍の1例

石戸谷俊太¹、大屋明希子¹、藤本 弥臣¹、高林江里子¹、渡邊 尚史¹、佐々木智章¹、
八巻 利弘¹、沖崎 貴琢¹、富田 唯¹、戸田 雅博¹、野村優里菜¹、上條那緒子¹、
中嶋 駿介²、林 秀美²、長谷部拓夢²、澤田 康司²、萩原 正弘³、高橋 裕之³、
川原 敏靖³、古川 博之³
旭川医科大学 放射線医学講座¹、旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、
旭川医科大学 外科学講座 肝胆膵・移植外科分野³

P-9 肝クリプトコッカス症の1例

星合 壮大^{1,2}、檜山 貴志^{2,3}、川崎 普司⁴、齊藤 仁昭⁵、天野 太史^{1,2}、那須 克宏¹、
森 健作¹、南 学¹
筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科¹、茨城県立中央病院 放射線診断科²、
国立がん研究センター東病院 放射線診断科³、茨城県立中央病院 消化器外科⁴、
茨城県立中央病院 病理診断科⁵

P-10 肝に発生した chronic expanding hematoma の1例

井原あゆ美、佐野村隆行、藤本 憲吾、田中 賢一、西山 佳宏
香川大学医学部 放射線医学講座

ポスター発表 脾臓・その他

座 長 祖父江慶太郎 (神戸大学医学部附属病院放射線科)

P-11 転移リンパ節とは異なるGradeを示した肝原発と考えられる神経内分泌腫瘍

関口 達也¹、市川 珠紀¹、河寫 洋平²、梶原 博³、小泉 淳¹、橋本 順¹、
今井 裕¹
東海大学医学部 専門診療学系画像診断学¹、東海大学医学部 消化器内科学²、
東海大学医学部 病理診断学³

P-12 Intrahepatic Splenosisの1例

川田 秀一¹、高谷 信宏¹、山際 健¹、森 耕一¹、谷田部悠介²、上田 浩樹²、
伊東 浩次²、井上 和成³
総合病院土浦協同病院 放射線診断科¹、総合病院土浦協同病院 消化器外科²、
総合病院土浦協同病院 病理診断科³

P-13 脾破裂で発症したバーキットリンパ腫/白血病の1例

高村 学¹、中田 早紀¹、三上 恒治¹、菅 真紀子²、小杉 智²、野口 幸藏³、
富丸 慶人³、足立 史朗⁴
市立豊中病院 放射線診断科¹、市立豊中病院 血液内科²、市立豊中病院 消化器外科³、
市立豊中病院 病理診断科⁴

P-14 副脾出血性梗塞破裂の1例

竹口 崇¹、岩村 卓明¹、原井川豊章¹、福井 聡¹、西 悠介²、松影 昭一³
市立宇和島病院 放射線科¹、市立宇和島病院 外科²、市立宇和島病院 病理診断科³

ポスター発表 胆道・胆嚢

座 長 五島 聡 (浜松医科大学放射線診断学・核医学講座)

P-15 粘液性嚢胞性腫瘍 (MCN) が疑われた胆管内嚢胞性腫瘍の1例

余語 結衣¹、里上 直衛¹、藤本 良太¹、岩佐 葉子²、高井 孝治³、上 和弘⁴、
久保田豊成⁴
京都市立病院 放射線診断科¹、京都市立病院 病理診断科²、京都市立病院 消化器内科³、
京都市立病院 外科⁴

P-16 胆嚢と肝外胆管に発症した胆道原発悪性リンパ腫の1例

成田 晶子¹、頼住 美穂¹、浅井あゆみ¹、泉 雄一郎¹、木村 純子¹、太田 豊裕¹、
鈴木耕次郎¹、指宿 麻悠²、井上 匡央²、大澤 高陽³、佐野 力³、高原 大志⁴、
都築 豊徳⁴
愛知医科大学病院 放射線科¹、愛知医科大学病院 肝胆膵内科²、愛知医科大学病院 消化器外科³、
愛知医科大学病院 病理診断科⁴

P-17 診断に苦慮した悪性リンパ腫の1例

出雲崎 晃¹、井上 大¹、小森 隆弘¹、蒲田 敏文¹、阪口 真希²、池田 博子²、
大坪公士郎³
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 内科系医学領域 放射線科学¹、
金沢大学附属病院 病理診断科・病理部²、金沢大学附属病院 がんセンター³

P-18 総胆管狭窄を伴った戸谷分類II型の先先天性胆道拡張症の1例

西本 雅和¹、佐藤 修²、三和 大悟¹、大野 浩司¹、佐藤 秀樹³、谷口 史洋⁴、
柳澤 昭夫⁵
京都第一赤十字病院 放射線診断科¹、京都府立医科大学附属北部医療センター 放射線科²、
京都第一赤十字病院 消化器内科³、京都第一赤十字病院 外科⁴、京都第一赤十字病院 病理診断科⁵

P-19 Nivolumab関連二次性硬化性胆管炎が疑われた1例

八十川和哉、神吉 昭彦、外園 英光、玉田 勉
川崎医科大学付属病院 放射線科

ポスター発表 膵臓

座 長 井上 大 (金沢大学病院放射線科)

P-20 嚢胞性病変が先行した浸潤性膵管癌の1例

高司 亮¹、山田 康成¹、小宮 裕¹、清永 麻紀¹、松本 俊郎¹、平下禎二郎²、
太田 正之²、猪股 雅史²、泥谷 直樹³
大分大学医学部 放射線医学講座¹、大分大学医学部 消化器・小児外科学講座²、
大分大学医学部 分子病理学講座³

P-21 自己免疫性膵炎との鑑別に苦慮した膵癌の1例

中島 好晃¹、小松 徹郎¹、三浦 剛史¹、山下 裕章²、田中 慎介³
山口県立総合医療センター 放射線科¹、山口県立総合医療センター 消化器内科²、
山口県立総合医療センター 病理診断科³

P-22 腸回転異常合併膵癌に対する重粒子線治療の適応判定

岸本 理和¹、尾松 徳彦¹、立花 泰彦¹、山田 滋²、磯崎 由佳²、瀧山 博年²
量研機構 (旧放医研) QST病院 画像診断室¹、量研機構 QST病院 治療課²

P-23 術前診断に苦慮した膵Solid pseudopapillary neoplasmの1例

松原 崇史¹、池野 宏¹、中井 文香¹、山本 亨¹、吉川 淳¹、前田 一也²、
海崎 泰治³
福井県立病院 放射線科¹、福井県立病院 外科²、福井県立病院 病理診断科³

P-24 局所再発と肝転移を来した乏血性solid pseudopapillary neoplasmの1例

重里 寛、松谷 裕貴、田中 義和、山本 聖人、坂根 誠、中井 豪、
小森 剛、山本 和宏
大阪医科大学 放射線診断学教室

P-25 Retroportal main pancreatic ductを呈した門脈輪状膵の1例

森本 毅、大出 創、大森 淳二、和田 慎司、橋本 一樹、藤川あつ子、
宮川 国久、三村 秀文
聖マリアンナ医科大学 放射線医学講座

ポスター発表 消化管・腸間膜・腹腔1

座 長 伊藤 高広 (奈良県立医科大学放射線医学教室)

P-26 術前診断ができた大網の食道裂孔ヘルニアによる胃前庭部狭窄の1例

田中 義和¹、雑賀 良典¹、浅生 義人²、田中 満²、野原 隆司³
枚方公済病院 放射線科¹、枚方公済病院 外科²、枚方公済病院 循環器科³

P-27 MRCP で描出された胃底腺ポリープの3例

田中絵里子¹、小竹 晃生¹、田代 祐基¹、竹山 信之¹、栗原 真南¹、永井 京子¹、
林 高樹¹、橋本 東兎¹、堀 祐郎¹、大池 信之²、野呂瀬朋子²
昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科²

P-28 膵管構造を認めた胃壁内異所性膵の1例

山崎美保子¹、阿部 敏幸²、谷坂 優樹³、良沢 昭銘³、長谷部孝裕⁴、川崎 朋範⁴
埼玉石心会病院 放射線科¹、埼玉石心会病院 消化器内科²、
埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科³、埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科⁴

P-29 転移性胃腫瘍の画像所見について

吉田 理佳、岡村 和弥、勝部 敬、安藤 慎司、吉廻 毅、北垣 一
島根大学 医学部 放射線医学講座

P-30 十二指腸由来と考えられた神経鞘腫の1例

溝口 圭輔¹、角 明子¹、長田 周治¹、田上 秀一¹、東南 辰幸¹、内藤 嘉紀²、
奥田 康司³、内田 政史^{1,4}、安陪 等思¹
久留米大学病院 放射線科¹、久留米大学病院 病理診断科²、久留米大学医学部 外科学講座³、
久留米大学医療センター 放射線科⁴

P-31 術前画像評価にMRI経口造影剤が有用だった小腸癌の1例

舟山 慧^{1,2}、瀧 雄介³、渡邊 昌也³、松原 和英³、鈴木 誠⁴、加藤 聡¹
静岡県立総合病院 放射線科¹、山梨大学医学部 放射線医学講座²、
静岡県立総合病院 消化器外科³、静岡県立総合病院 病理診断科⁴

P-32 GISTと鑑別が困難であった小腸器質化血腫の1例

井本 勝治、金子智亜紀、山本 敦子、山崎 道夫、坂本 力
公立甲賀病院 放射線科

ポスター発表 消化管・腸間膜・腹腔2

座 長 渡谷 岳行（東京大学医学部附属病院放射線医学講座）

P-33 EUSガイド下FNAにより予期せず診断されたparagangliomaの1例

西山 智哉^{1,2}、村石 懐¹、谷尾 宣子¹、岡本 武士³、中村 健二³、渡辺 貴之⁴、
砂川 宏樹⁴、鈴木 高祐⁵、大庭 建¹、佐藤 崇翔¹、福田 俊憲¹、山田 大輔¹、
黒崎 貴久¹、宮沢 亮¹、藪田 実¹、栗原 泰之¹

聖路加国際病院 放射線科¹、東京大学大学院医学系研究科 生体物理医学専攻 放射線医学講座²、
聖路加国際病院 消化器内科³、聖路加国際病院 消化器・一般外科⁴、聖路加国際病院 病理診断科⁵

P-34 非造影CTでの腹腔動脈解離・上腸間膜動脈解離の診断

信澤 宏
川崎幸病院 放射線診断科

P-35 汎発性腹膜炎を来し腸間膜デスマイドの1例

田代 祐基¹、小竹 晃生¹、永井 京子¹、田中絵里子¹、石川 牧子¹、竹山 信之¹、
林 高樹¹、橋本 東兎¹、若林 哲司²、内田 恒之²、磯邊 友秀³、大池 信之³
昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学藤が丘病院 消化器外科²、
昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科³

P-36 下行結腸癌切除後に発生した腸間膜デスマイドの1例

八木 俊洋¹、阿保 齊¹、金谷 麻央¹、望月健太郎¹、齊藤 順子¹、出町 洋¹、
内山 明夫²、石澤 伸²、廣瀬 敦史³、測上 貴正³
富山県立中央病院 放射線診断科¹、富山県立中央病院 病理診断科²、富山県立中央病院 外科³

P-37 腸間膜転移を来した肺小細胞癌の1例

麓 佳奈子¹、金崎 周造¹、山口 真彦²、永田 一洋³、竹中 一正⁴、下川 伶子⁵
康生会武田病院 放射線科¹、康生会武田病院 外科²、康生会武田病院 呼吸器内科³、
康生会武田病院 呼吸器外科⁴、康生会武田病院 病理科⁵

P-38 拡散強調画像やFDG-PETが診断に有用であった腹膜リンパ腫症の2例

米今 知佐¹、丸上 永晃²、山内 哲司²、國近 瑛樹³、田井 由実³、高濱 潤子³、
前田 新作¹、武輪 恵¹、齊藤 直敏⁴、細川 奈月⁵、長谷川 淳⁶、森田 剛平⁷、
吉川 公彦³
奈良県西和医療センター 放射線科¹、奈良県立医科大学 総合画像診断センター²、
奈良県立医科大学 放射線科・IVRセンター³、奈良県西和医療センター 中央放射線部⁴、
奈良県西和医療センター 産婦人科⁵、奈良県立医科大学 呼吸器・アレルギー・血液内科⁶、
奈良県立医科大学 病理診断科⁷

ポスター発表 腎臓

座 長 秋田 大宇（慶応義塾大学医学部放射線科学教室（診断））

P-39 多発乳頭状腺腫を背景に発生したType1乳頭状腎細胞癌の1例

水富 香織¹、吉田耕太郎¹、高松 篤¹、濱岡 麻未¹、香田 渉¹、小林 聡¹、
蒲田 敏文¹、角野 佳史²、池田 博子³
金沢大学付属病院 放射線科¹、金沢大学付属病院 泌尿器科²、金沢大学付属病院 病理診断科³

P-40 腎粘液管状紡錘細胞癌の1例

櫻井 亮佑¹、倉田 忠宜¹、長谷川市郎¹、佐藤 宏朗¹、緒方 雄史¹、折笠 英紀²、
杉浦 仁²、三上 修治³、勝井 政博⁴、原 智⁴、成松 芳明¹
川崎市立川崎病院 放射線診断科¹、川崎市立川崎病院 検査科病理²、
慶應義塾大学病院 病理診断科³、川崎市立川崎病院 泌尿器科⁴

P-41 腎管状嚢胞癌の1例

國近 瑛樹¹、丸上 永晃²、太地 良佑¹、南口貴世介¹、立入 哲也¹、高濱 潤子¹、
吉川 公彦¹、藤井 智美³、大林 千穂³、藤本 清秀⁴

奈良県立医科大学 放射線科・IVRセンター¹、奈良県立医科大学 総合画像診断センター²、
奈良県立医科大学 病理診断科³、奈良県立医科大学 泌尿器科⁴

P-42 管状嚢胞腎細胞癌の画像所見の検討

本田有紀子¹、中村 優子¹、海地 陽子¹、仙谷 和弘²、安井 弥²、後藤 景介³、
林 哲太郎³、亭島 淳³、松原 昭郎³、栗井 和夫¹

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学教室¹、
広島大学大学院医歯薬学総合研究科 分子病理学²、
広島大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器学³

P-43 画像上、片側腎の多房性嚢胞性腫瘤の形態を呈した多発性嚢胞腎の1例

山口 健¹、中園 貴彦¹、福井 修一¹、大塚 泰史²、松尾 宗明²、東武 昇平³、
野口 満³、相島 慎一⁴、入江 裕之¹

佐賀大学医学部 放射線科¹、佐賀大学医学部 小児科²、佐賀大学医学部 泌尿器科³、
佐賀大学医学部 病理⁴

P-44 壁在濃染結節を伴う出血性腎嚢胞2例の検討

池田 賢司¹、里上 直衛¹、藤本 良太¹、吉川 武志²、岩元 竜太³、岩佐 葉子³
京都市立病院 放射線診断科¹、京都市立病院 泌尿器科²、京都市立病院 病理診断科³

ポスター発表 泌尿器・後腹膜1

座 長 竹内 充 (ラジオロネット東海)

P-45 膀胱尿路上皮癌nested variantの4例

山田 香織¹、寺山 耕司¹、藤田 正人¹、上野 彰久²、山田 剛司²、岸本 光夫³

京都第二赤十字病院 放射線診断科¹、京都府立医科大学 泌尿器科²、
京都府立医科大学 人体病理学³

P-46 尿管悪性リンパ腫の1例

石田憲太郎¹、丸上 永晃²、南口貴世介¹、太地 良佑¹、立入 哲也¹、高濱 潤子¹、
平井都始子²、吉川 公彦¹、三宅 牧人⁴、藤井 智美³

奈良県立医科大学 放射線科・IVRセンター¹、奈良県立医科大学 総合画像診断センター²、
奈良県立医科大学 病理診断科³、奈良県立医科大学 泌尿器科⁴

P-47 尿管原発小細胞癌の1例

小野 貴史¹、小山 貴²、石坂 幸雄²、森畠 裕策²、中谷 航也²、中下 悟²、
藤原 俊孝²、天羽 賢樹²、奥村 明²、石井 文彩³、能登原憲司³、鶴田 将史⁴、
寺井 章人⁴

聖マリアンナ医科大学病院 放射線科¹、倉敷中央病院 放射線診断科²、
倉敷中央病院 病理診断科³、倉敷中央病院 泌尿器科⁴

P-48 膀胱癌のTUR-Bt後に生じた膀胱GISTの1例

影山 咲子¹、大竹 修一²、渡邊 奈美²、鈴木 仁³、大竹 浩也⁴
 東北大学医学部大学院 放射線診断学分野¹、山形市立病院済生館 放射線科²、
 山形市立病院済生館 泌尿器科³、山形市立病院済生館 病理診断科⁴

P-49 神経線維腫症1型に合併した膀胱神経線維腫の1例

浦瀬 靖代¹、上野 嘉子¹、神田 知紀¹、岡田 卓也¹、祖父江慶太郎¹、前田 隆樹¹、
 野上 宗伸¹、山口 雅人¹、杉本 幸司¹、田 寛之²、小川 悟史²、稲場 礼奈³、
 神保 直江³、村上 卓道¹
 神戸大学医学部附属病院 放射線診断・IVR科¹、神戸大学医学部附属病院 泌尿器科²、
 神戸大学医学部附属病院 病理診断科³

P-50 両側水腎症をきたした膀胱形質細胞腫の1例

宮崎 亜樹¹、神田 知紀¹、上野 嘉子¹、浦瀬 靖代¹、田中宇多留¹、祖父江慶太郎¹、
 前田 隆樹¹、野上 宗伸¹、村上 卓道¹、神澤 真紀²、伊藤 智雄²
 神戸大学医学部 放射線診断・IVR科¹、神戸大学医学部附属病院 病理診断科²

ポスター発表 泌尿器・後腹膜2

座 長 玉田 勉 (川崎医科大学放射線診断学教室)

P-51 同時発生した両側精巣セミノーマの1例

円城寺康宏¹、桑村 浩志¹、岡野 孔亮¹、畑中 勇輝¹、岡崎 路子¹、富田 快¹、
 吉川 裕紀¹、濱邊布美子¹、須山 陽介¹、曾我 茂義¹、黒田 健司²、熊澤 文久³、
 中西 邦昭³、新本 弘¹
 防衛医科大学校病院 放射線科¹、防衛医科大学校病院 泌尿器科²、
 防衛医科大学校病院 検査部病理診断科³

P-52 精巣上体腫瘤を契機に発見された悪性リンパ腫の1例

細川 浩平¹、菅原 敬文¹、徳永 伸子¹、桐山 郁子¹、清水 輝彦¹、酒井 伸也¹、
 角田 俊雄²、橋根 勝義²、吉田 功³、寺本 典弘⁴
 国立病院機構 四国がんセンター 放射線診断科¹、国立病院機構 四国がんセンター 泌尿器科²、
 国立病院機構 四国がんセンター 血液腫瘍内科³、国立病院機構 四国がんセンター 病理科⁴

P-53 嚢胞状の形態を呈した前立腺悪性腫瘍の2例

尾谷 智史¹、木戸 晶¹、有蘭 茂樹¹、古田 昭寛¹、矢嶋 諒¹、西尾 直子¹、
 桑原 遼¹、中尾 恭子¹、森畠 裕策¹、後藤 崇之²、澤田 篤郎²、住吉 真治³、
 羽賀 博典³、富樫かおり¹
 京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学)¹、
 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科²、京都大学大学院医学研究科 病理診断科³

P-54 Leydig cell hyperplasiaの1例

小澤 奈々¹、山田 香織²、森 潤³、森永友紀子⁴、山田 恵⁵
JCHO京都鞍馬口医療センター 放射線科¹、京都第二赤十字病院 放射線科²、
京都府立医科大学附属病院 小児科³、京都府立医科大学附属病院 病理診断科⁴、
京都府立医科大学附属病院 放射線科⁵

P-55 脂肪を含有したGanglioneuromaの1例

上野 碧¹、林田 佳子¹、藤崎 瑛隆¹、千原ちひろ¹、青木 隆敏¹、興梠 征典¹、
坂本 卓郎²、藤本 直浩²、久保 久幸³、久岡 正典³
産業医科大学医学部 放射線科¹、産業医科大学医学部 泌尿器科²、
産業医科大学医学部 第一病理学³

P-56 後腹膜原発のPEComaの1例

杉山 弘樹¹、斉藤 彰俊²、本杉宇太郎¹、大西 洋¹
山梨大学医学部 放射線医学講座¹、山梨県立中央病院 放射線科²

ポスター発表 子宮・卵巣1

座 長 坪山 尚寛 (国立病院機構大阪医療センター放射線診断科)

P-57 子宮内膜症から発生したと考えられた子宮頸部明細胞癌の1例

福井 修一¹、中園 貴彦¹、山口 健¹、入江 裕之¹、横山 正俊²、甲斐 敬太³
佐賀大学医学部 放射線医学教室¹、佐賀大学医学部 産婦人科²、佐賀大学医学部 病理³

P-58 子宮原発Carcinosarcomaの1例

山田 大輔¹、谷尾 宜子¹、野寄 史²、塩田 恭子³、鈴木 高祐²、栗原 泰之¹
聖路加国際病院 放射線科¹、聖路加国際病院 病理診断科²、聖路加国際病院 女性総合診療部³

P-59 子宮体部脱分化癌の3例

村上 敦史¹、椋田奈保子¹、福永 健¹、石橋 愛¹、野坂 加苗²、藤井 進也¹
鳥取大学医学部 病態解析医学講座画像診断治療学分野¹、
鳥取大学医学部 病理学講座器官病理学分野²

P-60 子宮内膜未分化癌の3例

塚田 実郎、中山詩穂莉、山城 啓太、宮内 貴弘、奥畑 好啓、田江健一郎、
渋谷 和、松本 隆之、戸田 悠介、衣袋 健司、岡田 真広
日本大学医学部附属板橋病院 放射線医学系放射線医学分野

P-61 子宮腺肉腫の1例

大図ひろみ¹、岡田 慎悟¹、宮崎 秀明¹、柳田 全孝¹、加藤 仁美¹、山城 雄貴¹、
桑鶴 良平¹、荒川 敦²
順天堂大学医学部附属病院 放射線診断学講座¹、順天堂大学医学部附属病院 人体病理病態学講座²

P-62 子宮頸部胃型粘液性癌の1例：画像と病理の対比

松谷 裕貴¹、中井 豪¹、山田 隆司²、小森 剛¹、山本 和宏¹、大道 正英³、
鳴海 善文¹
大阪医科大学 放射線医学教室¹、大阪医科大学 病理学教室²、大阪医科大学 産婦人科学教室³

ポスター発表 子宮・卵巣2

座 長 松尾 義朋（イーサイトヘルスケア）

P-63 子宮漿膜下に発育した胞状腺筋腫の1例

原 佑樹¹、土橋 佐紀¹、小澤 栄人¹、鈴木 裕之²、長谷川幸清³、伊藤 梢絵⁴、
安田 政実⁴、新津 守¹
埼玉医科大学 放射線科¹、埼玉医科大学 産婦人科²、
埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科³、埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科⁴

P-64 胎盤部トロホプラスト腫瘍の1例

竹山 信之¹、田中絵里子¹、佐々木 康²、大池 信之³、森岡 幹²、永井 京子¹、
田代 祐基¹、小竹 晃生¹、野呂瀬朋子³、磯邊 友秀³、橋本 東児¹、林 高樹¹、
中山 健²、丸山 大介²
昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学藤が丘病院 産婦人科²、
昭和大学藤が丘病院 病理診断科³

P-65 ポリープ状子宮内膜症のMRI所見の検討

竹内麻由美¹、松崎 健司²、坂東 良美³、西村 正人⁴、原田 雅史¹
徳島大学医学部 放射線科¹、徳島文理大学 診療放射線学科²、徳島大学病院 病理部³、
徳島大学 産婦人科⁴

P-66 卵巣カルチノイドの1例

金井 貴宏¹、宗近 次朗¹、内田 大輔¹、高濱 典嗣¹、扇谷 芳光¹、後閑 武彦¹、
長島 稔²、松本 光司²、関沢 明彦²、九島 己樹³
昭和大学医学部 放射線医学講座¹、昭和大学医学部 産婦人科学講座²、
昭和大学江東豊洲病院 臨床病理診断科³

P-67 腹腔内破裂をきたした十二指腸重複腸管癌由来転移性卵巣腫瘍の1例

山内 哲司¹、高濱 潤子¹、井上 正義²、森本 賢吾²、中込 将弘²、小川 恵³、
奥 正孝³、中島 慎介⁴、池永 雅一⁴、山田 晃正⁴、千原 剛⁵、山内 周⁵、
吉川 公彦¹
奈良県立医科大学 放射線科¹、市立東大阪医療センター 放射線科²、
市立東大阪医療センター 産婦人科³、市立東大阪医療センター 消化器外科⁴、
市立東大阪医療センター 病理診断科⁵

Q-1

旭川医科大学 放射線医学講座¹、旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、旭川医科大学 肝胆膵・移植外科³

野村 健太¹、石戸谷俊太¹、八巻 利弘¹、沖崎 貴琢¹、川原 敏靖³、古川 博之³、中嶋 駿介²、澤田 康司²、藤本 弥臣¹、高林江里子¹、渡邊 尚史¹、富田 唯¹、佐々木智章¹、大屋明希子¹、戸田 雅博¹、上條那緒子¹、野村優里菜¹、緒方 美季¹、萩原 正弘³、長谷部拓夢²

Q-2

福井大学医学部 病態解析医学講座放射線医学¹、福井大学医学部附属病院 外科²、福井大学医学部附属病院 病理診断科³

尾崎 公美¹、都司 和伸¹、山田 陽子¹、竹内 香代¹、長尾 美子¹、小坂 信之¹、小練 研司²、今村 好章³、木村 浩彦¹

Q-3

山口大学医学部 放射線科

伊原研一郎、田辺 昌寛、中尾 聖、三好 啓介、伊東 克能

Q-4

倉敷中央病院 放射線診断科¹、倉敷中央病院 病理診断科²、倉敷中央病院 泌尿器科³

辻 優一¹、森島 裕策¹、中谷 航也¹、藤原 俊孝¹、天羽 賢樹¹、中下 悟¹、奥村 明¹、小山 貴¹、寺田 和弘²、能登原憲司²、曲渕 敏博³、寺井 章人³

Q-5

国立病院機構 四国がんセンター 放射線診断科¹、国立病院機構 四国がんセンター 婦人科²、国立病院機構 四国がんセンター 病理科³

徳永 伸子¹、細川 浩平¹、桐山 郁子¹、清水 輝彦¹、酒井 伸也¹、菅原 敬文¹、友野 勝幸²、竹原 和宏²、寺本 典弘³

Q-6

日本赤十字社和歌山医療センター 放射線診断科¹、日本赤十字社和歌山医療センター 泌尿器科²、日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科³

桐田 光弘¹、梅岡 成章¹、岩村 直樹¹、原田 公美¹、廣井 崇¹、是永 章¹、樋本 祐紀¹、舌野 富貴¹、坂田 昭彦¹、河村 晃¹、伊藤 哲之²、藤原 裕士²、小野 一雄³

Q-7

京都山城総合医療センター 放射線科¹、京都山城総合医療センター 外科²、京都山城総合医療センター 病理部³

佐野 優子¹、一条 祐輔¹、瀬理 祥¹、石原 潔¹、糸川 嘉樹²、森永友紀子³